

第 802 回 原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合 ご指摘事項について

1. ご説明内容

○浜岡原子力発電所 プレート間地震の地震動評価について（コメント回答）

2. ご指摘事項

○震源モデルについて

- ・「強震動生成域の位置の不確かさを考慮した震源モデル（東側ケース、直下ケース）において、敷地からの距離が最も短い保守的な場所に位置している」との記載について、等価震源距離は最も短くないため、記載を修正すること。
- ・強震動生成域の不確かさの考慮として設定している東側ケースと直下ケースについて、浜岡原子力発電所の評価として、どういう意図でこの2ケースを設定したのかの説明を充実させること及びケース名称を検討すること。
- ・プレート間地震との連動を考慮している御前崎海脚西部の断層帯の断層傾斜角の不確かさを考慮した震源モデルについて、アスペリティ面積比が32%程度と少し大きいことから、念のため、強震動予測レシピにあるアスペリティ面積比22%及び平均応力降下量3.1MPaで設定した震源モデルについて確認すること。
- ・震源断層パラメータのうちS波速度及び密度について、プレート間地震と内陸地殻内地震で異なる物性値を採用していることから、それぞれの根拠を追記すること。

○断層モデルを用いた手法による地震動評価結果について

- ・断層モデルを用いた手法による地震動評価結果の水平動と鉛直動の比率が2：1程度となっている要因の分析結果のまとめの記載について、観測記録に基づく地震基盤面における鉛直水平比（短周期側で0.6程度）もその要因であることが明確に分かるように、記載を修正すること。

以上